

松本零士さんごころの古里新谷から

新谷一万石まちおこしの会副会長  
(新谷自治会長) 亀岡 佳章

はじめに

大洲市新谷町は、江戸初期に大洲藩6万石のうち1万石の内分を受け成立した陣屋町である。現在も愛媛県で唯一残っている陣屋の一部が愛媛県有形文化財に指定されている。内部には控えの間、謁見の間などがあり、旧藩時代の陣屋をしのぶ貴重な建物である。



旧新谷藩陣屋 麟鳳閣

平成24年7月に大洲市立新谷小学校新校舎落成式並びに開校140年記念式典が挙行された。その建築材の多くは、新谷の先人たちが神南山で育ててきた木材であり、また玄関の児童昇降ホー



壁画 ふるさとからの旅立ち

ルには松本零士氏による直筆サイン入りの壁画「ふるさとからの旅立ち」(縦2.3m、横5.8m)が描かれ、子どもたちに夢と希望を与えるものになっている。この絵には、松本零士氏が太平洋戦争末期に仲間たちと遊んだ母親の実家近くの田畑や列車(内子線)、新谷のシンボリックな山である神南山のある風景が描かれている。

地域活性化への取り組み

漫画家松本零士氏と新谷との繋がりを活用し、新谷地域の町おこしを図ろうと、平成25年2月「新谷一万石まちおこしの会」が設立された。

そこで何ができるか、平成25年度に実施できる関連事業を立案した。しかし予算はゼロに等しい中ででの立案であり苦しい思いがあった。

計画の一つ目として、松本零士先生の作品「銀河鉄道999」にちなんだイラストを募集をし、「ふるさと祭り」の前日、零士先生に集まったイラストの審査をお願いした。

次に7月の新谷商工会実施の夏祭りで

メーテルなどのイラストを描いた山車を運行することを決定した。

「ふるさと祭り」の会場では集まったイラスト45点の審査の結果発表が行われた。イラストは大洲はもちろん、松山、八幡浜、内子などから主人公の鉄郎やメーテル、999号などの力作が集まった。

零士先生は会場で「新谷は私が子ども時代に過ごした古里であり、大自然の中で友達と暴れまわったユートピアであり、まさに私の人生の起点であった」と述べられ、「出来ることならこのイベントを続けてほしい。私はまた来年も新谷に帰って来ます。」と述べられ新谷への思い入れを語られた。

これがきっかけで、現在まで6年間に



応募イラスト第1回零士大賞(内子高校生)





巨り零士先生に帰っていただき、先生との食事会などを実施している。大洲市からの補助金、地元各界からの寄付により、新谷に零士先生関連のモニュメント、街路の命名などがなされた。

これまでに町中の街灯にバナナ(旗印)を取り付けメーテル通り、鉄郎通りと名付けた。国道56号線沿いには「銀河鉄道999始発駅新谷」の看板を立てた。また、新谷小学校前に999号の謎の美女メーテル像を設置した。

夏祭りにおいて999号に見立てた山車を運行しお菓子まきを実施、夏祭りの夜の街を活気付けた。



新谷小学校前 メーテル像



街灯のパナ



テーブル食事会

それは、零士先生が疎開時代の無二の親友との永遠の思い出を描かれたものである。この会話は1944年(昭和19年)お二人が柿の木の上で交わした実際の会話である。零士先生の自伝的アニメ「昆虫国漂流記」の中にもタクちゃんの名称で度々登場する。



零士先生永遠の思い出の碑

野寄卓助さんと遊んだ思い出の場所に、「零士先生思い出の碑」を卓助さんの弟全昭さんによって設置され、記念碑には、柿の木に登っている二人の少年が柿を頬張っている絵が描かれている。絵には『おい松本 十年たつてもオラを忘れるなよ』『だれが 忘れるもんか 卓ちゃん』



新谷夏祭りまちおこしの会山車



国道56号沿い松山方面

全国「銀河鉄道999」ファン、零士ファン、皆さん愛媛県大洲市新谷に松本零士、「銀河鉄道999」の新たな聖地が誕生しました。ぜひお越しください。



松本零士先生 記念碑

零士先生と新谷を繋ぐ記念になる作品を描いていただき、世界で一つしかない作品がまちおこしの記念碑になればと、平成29年11月19日その作品の除幕式が行われた。高さ1.7m、地元を流れる川、矢落川をイメージした大地に石の台座を置き、その上に地球と月をイメージした二つの球が配置されたものである。地球には新谷を位置付けた四国の地図、零士先生の作品「銀河鉄道999」の列車と謎の美女メーテルが描かれている。まさに新谷から999号が発発し、世界にはばたくというイメージである。地球の裏には零士先生の字で「理想郷大洲・新谷 命のふるさと」と刻まれている。

今後はこのような作品を地域の方に十分知っていただき、日本のみならず世界に向けて発信できればと考えている。

活性化への思いと今後